

■児童の学力の状況

- 学習に意欲的に取り組む児童が多く、「知識・理解」については学習内容が身に付いている児童が多く見られるが、「思考・判断・表現」の力については、苦手意識をもつ傾向がある。
- 「板橋区学習ふりかえり調査」及び「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から、基礎的・基本的な学習内容については概ね定着している児童が多く見られるものの、個別に支援が必要な児童も見られる。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

- 授業が計画通りに進まず、本時のめあてが達成できたかを児童自身が振り返る時間を取れないことがある。
- 児童一人ひとりの考えを友達同士で交流する場面で対話を通して互いを高め合い、深い学びにつなげる指導を工夫する必要がある。
- 学習内容の定着が困難な児童への補足的な指導時間の確保や、家庭学習の習慣化についての啓発が難しい。

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

- 学習規律を徹底し、学びに向かう姿勢をしっかりと身に付け、共に学び高め合おうとする学級風土を培う。
- 「板橋区授業スタンダード（めあて→思考の流れ→振り返り）」の徹底した授業の流れを構築する。
- 思考力・判断力・表現力を育てるために、自力解決する問題解決型・探究型の学習と、話し合い活動や学び合いの多い授業構成にしていく。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
問題解決型・探究型の授業	協働学習の導入	基礎的・基本的な学習の定着
○各教科等の授業において、「課題設定→情報収集→分析・考察→課題解決→新たな課題設定」等の学習の流れを定着させる。	○ペアやグループ、学級全体など、その学習に合った学習集団や学習形態を工夫し、児童が互いの考えを伝え合う場を意図的に設定する。	○本時の具体的なめあてを提示し、児童がめあてに対して振り返りを行う時間を毎時間設定する。 ☆フィードバック学習教材やノートを活用した学習の方法を周知し、家庭学習の習慣化を図る。

（☆は、学びのエリアで共通）

■板橋区教育委員会グランドデザイン2017の実現に向けた取組

確かな学力の定着	教員の指導力向上	豊かな心と健やかな体の育成	「チーム学校」 保幼小中連携教育の推進
☆学習のねらいの明示と振り返り、まとめを毎時間行い、「板橋区 授業スタンダード」に基づいた授業を全学級で行う。 ○「全国学力・学習状況調査」「児童・生徒の学力向上を図るための調査」「ふりかえり調査」の結果を学力向上部会を中心に分析し、各学年で正答率の低い分野に家庭学習や補習教室で取り組む。	○全学級でICT機器を効果的に活用し、重要な部分を拡大して提示したり児童の考えの共有化を図ったりする。 ○教職員の課題に応じ、板橋区教育支援センター主催の研修に積極的に参加するとともに校内OJTを推進し教員の指導力の向上を図る。	○道徳の教科化に向け、考え議論する道徳の授業を全学級で行い、評価についての研修を行う。 ○校内研究においてオリンピック・パラリンピック教育の推進について検討し、「まなぶ・うごく・かかわる・ふれあう・もてなす」の5つの取り組みを推進する。	○「家庭学習の手引き」について家庭に周知し家庭と連携して、自ら学ぶ習慣をつけ、基礎的・基本的な学力の定着を図る。 ☆学びのエリアで授業規律について共通化し、9年間を通じて、落ち着いた環境の中で学習に取り組めるようにする。

（☆は、学びのエリアで共通）